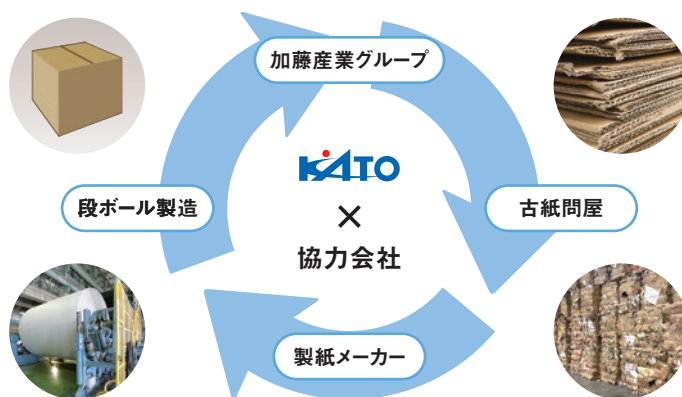


資源循環

当社グループは、サステナビリティに関する取組みのマテリアリティ(重要課題)の一つとして「資源循環」に取り組んでいます。2030年目標達成に向けて、活動の基盤が完成しつつあるため段階を上げた取組みを検討しています。

クローズドリサイクルの実施

当社グループの物流センターや製造工場から排出している段ボール等の古紙類に関して、「古紙～段ボールケース」のループを形成し、サプライチェーンを可視化しています。また、業界大手とパートナーシップを組むことで全国一元管理が可能となり、安定して回収する仕組みを構築しています。



プラスチック類の再資源化

当社の物流センター等から排出されるストレッチフィルムやPPバンドに関しては、焼却処理されていたものも再資源化が可能となり、再資源化100%が実現しました。この取組みをグループ会社にも水平展開し、グループ全体での再資源化100%を目指します。

サステナビリティに配慮した自社ブランド商品

自社ブランド商品への「賞味期限の年月表記」「バイオマス・水性インキの使用」「有機・特別栽培」「紙製容器の使用」等に対応することで、サステナビリティに配慮した商品開発を進めています。

また、自社ブランド商品の開発段階において、稟議書や商品仕様書に「環境配慮包材(商品パッケージ)」に関するチェック欄を設け、「プラスチック資源循環促進法」への対応とともに、2030年までにすべての自社ブランド商品におけるサステナビリティへの配慮を実現します。



文具Share Boxの設置

従業員の机の中に眠っている文具を共有し、不要な買い足しを無くすことを目的に文具 Share Boxを設置しています。

有機JASジャム
食の安心・安全が注目されているなか、原料にこだわった商品です。

植物由来のミンチ
高たんぱく質で食物繊維もたっぷりです。

容器の再利用とゴミの減量化
同商品の瓶詰容器に1袋分が入るつめかえ商品です。